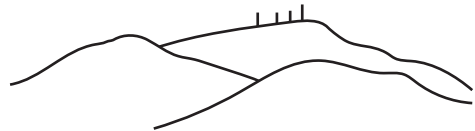


Youth Manna

2018/7/16 - 7/22



マルコ 1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2018/7/16(月)

士師記 1:16-36

「追い払えなかった」「占領しなかった」というような言葉がたくさん出てくるから、占領できなかった土地が多く残ってしまったことが分かるね。これはとても残念なことだ。彼らが勝ち取れなかったのは何が問題だったのだろうか？イスラエルが約束の地を勝ち取るために必要だったのは、彼らの武力や数の多さではなく、信仰だけだった。

信仰は、望んでいることを保証し、目に見えないものを確信させるものだ！イエスは「信じる者には、どんなことでもできるのです。」と言われた。信じる者に働く神様の力がどんなに偉大なものかを知ろう！あなたが不可能だと諦めている領域はないかな？神様があなたに語られていることをまず聞こう！そして信じよう！

2018/7/17(火)

士師記 2章

ヨシュアとその時代の長老たちが生きていた間はイスラエルは神様に仕えていたけど、次の世代は神様を知らず、神様が行われたことも知らない世代だった。神様は父親が子どもを叱るように何度もイスラエルを立ち返らせようとしている。だけどイスラエルは何度も神様に背き続けた。彼らの姿や歩みを見てどう思うかな？この箇所を読むと、人の罪の酷さを見て何だか落ち込んでしまうよね。だけど、人の罪深い性質は僕らの中にもあることなんだ。この点において僕らは高ぶらず、神様の前にへりくだらなければならない。罪を甘く見ている部分はないかな？悔い改めることを真剣に受け取ろう！

2018/7/18(水)

士師記 3章

神様はカナンの先住民を残したままにした。それは、①神様の命令に聞き従うかどうか試みるため②戦いを知らない者たちに戦いを教えるため③イスラエルが主の命令に従わずに、カナンの先住民を追い払わなかったからだ。

カナンの先住民の神々を拝むなど、神様を恐れず、自分が良いと思う自分勝手な道に歩もうとするイスラエル人に対して、主は怒り、彼らを試練に合わせた。そして、オテニエル、エフデ、シャムガルというさばきつかさが起こされた。主は、彼らを通して、イスラエルを救われた。

神様は、試練の中にあっても脱出の道を備えてくださる。自分にとって、辛いなあと思うことの中にも主がいてくださり、助けてくださることを信じて、助けてください！と祈ることができるように祈ろう！

2018/7/19(木)

士師記 4章

カナンの王ヤビンの下に、シセラという将軍がいた。彼は900両の鉄の戦車を持ち、20年の間イスラエル人をひどく圧迫していた。その脅威のシセラを、神は、イスラエルの手に渡されると言った。

イスラエル人にとって、最新鋭の戦車を揃えた、シセラがどのように自分たちのものになるのか、それは理解の及ばぬことであっただろう。だが、神が味方し、神はシセラとそのすべての戦車とすべての陣営の者をバラクの前に剣の刃でかき乱したとされる。

改めて、神さまは私たちの理解をはるかに超えられる方であることを覚え、神さまのこころを求めよう。

2018/7/20(金)

士師記 5章

デボラとバラクは神様のみわざを経験して、その応答としての賛美が記されています。日々神様と聖霊の働きを感じていますか？もし経験しているならそれにどう答えて行きますか？問題が解決した時に神様に感謝する事はとても大切です。そしてその事から学んでより神様に近づいて行く事がクリスチャンとしての成長に繋がります。デボラとバラクが霊的に目覚めた時に、主の民が勇士のように集まって来るという事が起きました。つまり神様に触れられる時に神様は人々の関係も豊かに祝福して下さいます！最近神様が下さった素晴らしい事はなんですか？そしてその神様とこれからどういう関係になって行きたいか考えよう！

2018/7/21(土)

士師記 6:1-18

繰り返し主の前に悪を行うイスラエル人。主は彼らをミデヤン人の手に渡され、そこでイスラエルの人たちはまた主を求めた。そんな中で、神様が「勇士よ」と選び声をかけたのが、酒ぶねの中で小麦を打ちながら隠れていたギデオンだったんだ。ギデオンは一番小さい族の一番若い人だった。彼はそれを自分でも言っていて、隠れているほど自分に自信がない人だったね。でも、神様は「わたしがあなたとともにいる。」と力づけ、それゆえに勝利をギデオンに約束された。

私たちも神様がともにいてくださるから、力強く困難にも立ち向かっていける。それを神様ご自身が私たちに語って励ましてくれているね。そのことを受け取って今日も出て行こう！

2018/7/22(日)

士師記 6:19-40

神様のしるしを見たギデオンでしたが、それでも恐れたり、また神様にしるしをみせてくださるようお願いしたりと、なかなか確信をもつことが出来ませんでした。

それでも34節には、「主の霊がギデオンをおおった」とあります。不安や恐れで確信をもてないときにも、神様が力づけてくれたからこそギデオンは戦いに出ることが出来ました。

みんなの毎日の中で、戦いだと感じるところはどんな時だろうか。

「私は、私を強くしてくださる方によって、どんなことでもできるのです。」(ピリピ4:13)

一人じゃできないことも神様と一緒になら出来ます！いつも共にいてくださる方に信頼しよう！